

2018年1月4日

株式会社生命科学インスティテュート 社長 木曾誠一 2018年年初挨拶（要約）

新年明けましておめでとうございます。

昨年は生命科学インスティテュート（LSII）グループ各社の皆さんには厳しい事業環境の中で頑張ってくださいました。LSI メディエンスは堅調に事業を成長させ、エーピーアイコーポレーションは筋肉質な体制で生産性を高めてきています。クオリカプスは設備を増強し、健康ライフコンパスはサイトリニューアルなどのビジネスの準備を着々と進めてきました。LSII では、健康・医療 ICT 分野での新規事業の開発を進めるほか、Muse 細胞製剤の急性心筋梗塞の患者さんを対象とした治験開始に向けて精力を傾けています。特に Muse 細胞製剤については、アンメット・メディカル・ニーズに応える治療として、多くのお問い合わせをいただいています。あきらめていた病に光を見出し、期待を寄せて頂いている患者さんが沢山おられます。ヘルスケア事業にたずさわる企業人にとって、人々の健康に貢献したいという気持ちは根源的なものです。真の貢献があるからこそ、事業として成り立ち、成長していくのだと信じています。

今年は薬価改定の年です。少子高齢化や医療の高度化により保険財政は厳しい状況にあり、政府は財政の健全化を図る一方で、健康寿命の延伸によりこの状況を打開しようとしています。そのような中、人々の健康への関心は高まりをみせ、それに応えるべく様々な領域の企業がヘルスケアビジネスに参入し、その市場はますます広がっています。こうした環境の中で LSII グループは、各社がこれまで築き上げてきた体制・実績を活かし、既存事業と新規事業を両輪としてグループ一体となり、今年も一層発展していきたいと思えます。

近年は大企業の不祥事が相次いで報道されています。仕事に取り組む上で大切なことは仕事の意義や価値を理解することだと私は思います。われわれのヘルスケア領域の事業には倫理感とコンプライアンス、そして安全性の担保が欠かせません。診断を信じ、治療に頼り、病気と闘っている患者さんの健康を取り戻したいという願いを思えば、いい加減な仕事はできないのではないのでしょうか。現場は日々忙しいと思います。しかし、今一度、社会から求められている私たちの仕事の意義を見つめ直し、健康を願う人々に貢献するというプライドを持って、業務を遂行してください。

健康経営については、社員一人ひとりの健康を目指し、様々なイベントを始めています。チーム対抗の歩数大会には私も参加しています。休日に歩数をかせぐものの、上には上がいるもので、驚くばかりです。また、健康経営は働き方改革でもあります。本来の仕事に注力し、様々な仕事が成果に結びつくように無駄な仕事を削減し、高い意欲と精神性で仕事に取り組んでいきましょう。

以上